

授業科目名・形態	地域・在宅看護論Ⅱ 講義	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	石川セツ子・千葉美穂	実務経験の有無	有	開講期	2年後期

【授業の主題】

社会や時代の変化に対応できるように、地域の生活の中で看護を必要とする多様な事例について、在宅療養生活を支える基本的な技術と日常生活を支える看護技術の実践を体験する。また、終末期看護（がん看護含）や様々な疾患による在宅療養者の事例展開について演習を実施し課題を抽出して学びを深める。

【到達目標】

- 1) 訪問看護の特徴と対象者について理解できる。
- 2) 在宅療養を支えるコミュニケーション技術、アセスメント技術を学び、必要性和その方法を理解する。
- 3) 日常生活を支える在宅看護技術の支援方法について理解できる。
- 4) 在宅療養を支える在宅看護技術(医療ケア)について理解できる。
- 5) 在宅療養を支える健康危機・災害対策が必要であることを理解できる。
- 6) 在宅療養における在宅看護過程の事例展開ができる。

【授業計画・内容】

- 第1回 在宅療養生活を支える基本的な技術①（石川）
コミュニケーション ユマニチュード 在宅におけるアセスメント技術
- 第2回 在宅療養生活を支える基本的な技術②（千葉美）
環境整備 生活リハビリテーション 感染予防 ターミナルケアの基本
- 第3回 日常生活を支える看護技術（千葉美）
食生活 排泄 清潔 肢位の保持と移動 呼吸 睡眠
- 第4回 在宅療養を支える看護技術（医療ケア）（石川）
医療ケアの原理原則 薬物療法 排痰ケア 気管カニューレ管理 在宅酸素療法
- 第5回 在宅人工呼吸療法（HMV）：非侵襲的陽圧換気療法（NIPPV）（石川）
在宅人工呼吸療法（HMV）：気管切開下間欠的陽圧換気療法（TPPV）
- 第6回 排尿ケア ストーマ管理 在宅経管栄養法 輸液管理（在宅中心静脈法、末梢静脈栄養法）（千葉美）
- 第7回 褥瘡管理 足病変のケア インスリン自己注射 在宅CAPD管理（石川）
- 第8回 在宅療養を支える健康危機・災害対策（千葉美）
① 在宅療養における健康危機・災害対策 ②地域包括ケアシステムにおける健康危機・災害対策
③ 訪問看護による健康危機・災害対策
- 第9回 訪問看護ステーションにおける看護活動の実践（石川）
- 第10回 がん療養者への在宅看護 1) がん看護と疼痛コントロール 2) 看取りの看護（石川）
- 第11回 在宅療養における看護過程の展開技術（講義）（千葉美・石川）
初回訪問 アセスメント 基本情報 在宅療養者記録 在宅看護援助計画立案 評価
- 第12回 演習① 在宅看護過程の事例展開（在宅看護援助計画立案）（千葉美・石川）
- 第13回 演習② 在宅看護過程の事例展開（在宅看護援助計画立案）（千葉美・石川）
- 第14回 やってみよう訪問看護 グループワークによるロールプレイ①（千葉美・石川）
- 第15回 やってみよう訪問看護 グループワークによるロールプレイ②（千葉美・石川）

【授業実施方法】：①講義 ②DVD視聴 ③演習 ④グループワーク（ロールプレイ含） ⑤発表など。

【授業準備】：在宅療養者に多い主な疾患と特徴や関連する社会的状況について、事前に情報収集し講義で確認する。

【主な関連する科目】： 地域・在宅看護論Ⅰ・Ⅱ 地域・在宅看護実習Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】：2024年度版 地域・在宅看護論①②「地域療養を支えるケア」「地域療養を支える技術」

石田千絵 山下留理子著 メディカ出版

【参考文献】：令和6年版訪問看護業務の手引き等、その他必要に応じ授業で紹介する。

【成績評価方法】：1) 筆記試験（70%）2) 課題レポート・演習への取り組み（30%）

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

- ① 訪問看護の実務経験を活かし、事例等を紹介しながら授業に取り入れる。
- ② 看護技術を高めるため演習を通して実体験し、課題・疑問等について考え、学生自ら意見を言えるようにする。

【学生へのメッセージ】

- 1) 地域・在宅看護の特徴を知り、療養者が望む住み慣れた地域での生活を感じ取っていただきたい。
- 2) 社会情勢等の動向について、新聞やマスコミ等に関心を持ち地域・在宅看護との関連性について考えてみましょう。